

第2回

関節外科 専門医を めざして

八戸平和病院整形外科科長

藤井 一 晃
ふじ い かず あき

今回は当院にて行っている
変形性膝関節症、
変形性股関節症に対する治療について
ご紹介いたします。

変形性膝関節症に 対する治療

診察後、レントゲン、MRIにて変形の程度を診断します。変形の程度が少ない場合には薬、注射、リハビリなどの保存療法より治療を開始します。特にヒアルロン酸の関節内注射は効果があり、かなり変形の強い方でも症状が軽快することがあります。半月板が疼痛の原因になっている場合には内視鏡にて半月板を切除することにより疼痛の軽快する場合があります。変形の強い場合には人工膝関節置換術を行います(図1)。現在では、術後2日目より歩行訓練を開始し、入院期間も1カ月前後と短くなりました。

変形性股関節症に 対する治療

膝と同様に保存療法より開

麻酔の特徴

麻酔科の協力により手術中に出血を少なくするため血圧を下げて手術を行うことにより、輸血をすることにより、輸血をする機会も大幅に減少いたしました。また、手術を受ける際に、一番怖いのは痛みであると思いますが、背中にチューブを入れ麻酔薬を使うことにより疼痛をかなり抑えることができ、術後も快適に経過される方がほとんどです。手術を受ける際には麻酔科医がしっかりといるか確認された方が得策です。

手術を怖がらないで

手術と聞くと現在でも、かえって悪くなる、とても痛いな

始することを原則としておりますが、股関節は一番負荷のかかる関節であるため疼痛も強く、長い期間疼痛で悩んでいる事が多く、最初から人工股関節置換術(図2)を目的として受診される方が増加しております。

以前、人工股関節置換術は傷が20〜30cmと大きなものでしたが、手術機械、手術技術の進歩により現在では10cm以下の小さい傷で手術を行う最小侵襲手術(Minimally Invasive Surgery)以下MIS)が可能になりました。筋肉等の骨以外の軟部組織への損傷が少ないため、術後の回復も早くなります。人工股関節は人工膝関節と比較しリハビリに期間を要していましたが、現在では膝同様に2日後より歩行訓練を開始し、3週間前後での退院が普通となってきました。早期社会復帰も可能で、出血も少ないというメリットの多い手術で

ど躊躇される方もありますが、手術を受けた患者様から感想を聞くと、ほとんどの方から、「こんなに楽になるのであれば、もっと早く手術を受ければよかった」と言っていたいております。これは整形外科医として最高の喜びで、努力してよかったと思える瞬間です。患者さんにとって、手術を受けることは非常に大変なことだと思いますが、人工関節の進歩は目覚ましいものがあります。疼痛で困ったら早い段階で手術に踏み切ることも大切であると思っております。そのため常に最先端、最高の技術を提供できるように努力していきたいと思っております。

なお掲載した内容は私のホームページからもご覧いただけます。
<http://www.dr-fuji.net/>よりご覧ください。

す。しかし、高度な技術と経験を要するため、全国的にもMIS手術を行っている施設は少なく、青森県内でも当院のみで行われているのが現状です(図3)。自身は当院にて約200例のMIS手術を経験し、良好な結果が得られています。

FUJII KAZUAKI

藤井 一 晃

ふじ い かず あき

秋田県湯沢市出身
昭和63年 弘前大学医学部卒業、弘前大学整形外科入局
平成8年 博士号取得
平成11年 フランス留学
平成12年 八戸市民病院整形外科科長
平成16年 八戸平和病院整形外科科長



気軽に相談、地域とともだち。

(財)日本医療機能評価機構 審査体制区分2(Ver.6.0)

医療法人 平成会 **八戸平和病院**

外科、整形外科、泌尿器科、消化器内科、内科、循環器内科、眼科、麻酔科・ペインクリニック

〒031-8545 八戸市湊高台2-4-6
TEL: 0178-31-2222 URL: <http://www.heiwa-hp.or.jp/>

診療 平日 8:00~12:00、14:00~17:00
受付 ※診療科によって異なります。ホームページやお電話でご確認ください。